

まちの預金



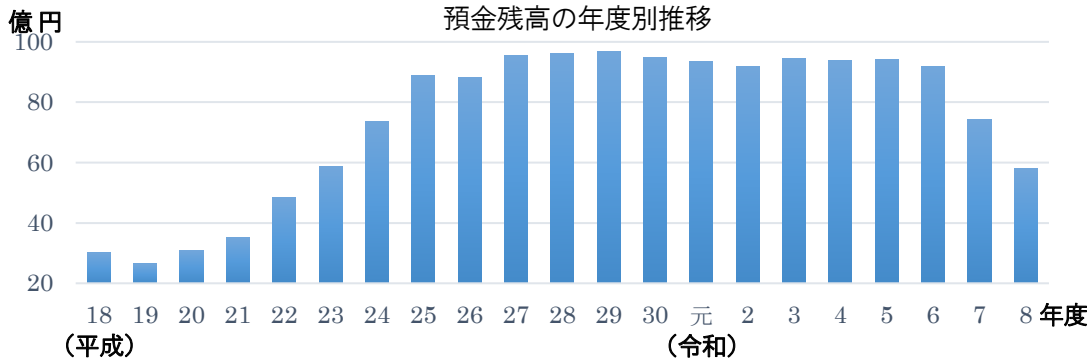
まちには、一般家庭でいう預金（基金）があります。

預金は、その目的に応じて管理しており、積み立てにより増加し、取り崩しにより減少します。

平成19年度末と令和7年度末を比較すると約32億円増加しています。

なお、令和7年度と8年度に基金の残高が減少している主な要因としては、新庁舎建設事業に伴って、将来に借金の負担を残さないために基金を取り崩したことによるものです。

令和8年度末現在高見込みについては、今後の積み立て、取り崩しにより増減することがあります。



※預金残高は、一般会計の出納閉鎖時点（5月31日）の見込みで、今後変動が見込まれます。

基金名	令和8年度末 現在高見込み	令和7年度末 現在高見込み	増減額	増減率
財政調整基金	22億 4,416万円	32億 414万円	▲9億 5,998万円	▲30.0%
減債基金	4億 335万円	5億 8,829万円	▲1億 8,494万円	▲31.4%
まちづくり振興基金	25億 5,688万円	26億 1,566万円	▲5,878万円	▲2.2%
まち・ひと・しごと創生基金	1,951万円	3,094万円	▲1,143万円	▲36.9%
地域振興基金	4億 4,619万円	8億 1,752万円	▲3億 7,133万円	▲45.4%
名寄線代替輸送確保基金	4,312万円	4,501万円	▲189万円	▲4.2%
町有林野事業資金基金	92万円	91万円	1万円	1.1%
森林環境譲与税基金	1億 365万円	1億 3,232万円	▲2,867万円	▲21.7%
計	58億 1,778万円	74億 3,479万円	▲16億 1,701万円	▲21.7%

※このほかに土地開発基金、奨学資金貸付基金、医師養成確保修学資金貸付基金及び介護給付準備基金があります。

預金（基金）の説明	
財政調整基金	財政運営上の収入不足の調整や災害発生などに備える預金です。
減債基金	公債費（借金の返済）に充てる預金です。
まちづくり振興基金	様々なまちづくり事業に充てる預金です。寄附金を受けた場合に積み立てることがあります。
まち・ひと・しごと創生基金	まち・ひと・しごと創生寄附金を活用する事業に充てる預金です。
地域振興基金	町村合併時に将来に備え借金をして造成した預金です。返済金の多くは国から補てんされました。
名寄線代替輸送確保基金	名寄線の廃止以降のバスによる代替輸送に充てる預金です。
町有林野事業資金基金	町有林野の造林や林道整備などに充てる預金です。
森林環境譲与税基金	森林整備や森林整備を担うべき人材の育成などに充てる預金です。

積み立て 取り崩し

預金などの積立て、取崩しを説明します。

【財政調整基金】

財政調整基金は、財政収支を調整し、赤字にならないようにするためのものです。

遠軽町は、平成17年10月に財政状況の厳しい町村で合併しました。当時の基金残高は、5億2144万円で、財政調整基金の一般的な適正水準を下回る約6%しかありませんでした。

こうした過去の反省から、令和7年度に策定したまちの財政計画においては、適正水準である10%以上の水準を保つこととされています。

将来的な財政収支に影響

響を与える問題として、公共施設の老朽化対策などがあります。

こうしたことに備えるために基金残高を適正水準以上に保つ必要があります。

令和6年度は、決算の剰余金などで3億5604万円を積み立て、財政収支の調整のため7億円を取り崩しました。

基金残高は、適正水準を超える約35%となっています。

【減債基金】

減債基金は、借金(町債)の返済(償還)を計画的に行うためのものです。

返済の負担を軽減するため、積み立てることがあります。

町村合併直後の基金残高は、1億6246万円でした。

減債基金の適正水準はありませんが、新庁舎建設などこれまで行ってきた

施設整備による将来負担の増加に備えて積み立てています。

令和6年度は、5203万円を積み立て、2054万円を取り崩しました。

【特定目的基金】

特定目的基金は、特定の目的のために使うもので、まちづくり振興基金、まち・ひと・しごと創生基金、地域振興基金、名寄線代替輸送確保基金、町有林野事業資金基金、森林環境譲与税基金があります。

特定目的基金は、特定の目的のために使うもので、まちづくり振興基金、まち・ひと・しごと創生基金、地域振興基金、名寄線代替輸送確保基金、町有林野事業資金基金、森林環境譲与税基金があります。

まちづくり振興基金

まちづくりに関する様々な事業を行うための基金です。

令和6年度は、ふるさと納税寄附金などにより1億3237万円を積み立て、9677万円を取り崩しました。

まち・ひと・しごと創生基金

まち・ひと・しごと創生

寄附金を活用する事業を行うため、令和2年度に新しく創設された基金です。

令和6年度は、寄附金などにより1800万円を積み立て、282万円を取り崩しました。

地域振興基金

町村合併時に基金残高が少なかったことから、合併特例債を借り入れて創設した基金です。

令和6年度は、利子86万円を積み立て、取り崩しはありませんでした。

名寄線代替輸送確保基金

国鉄名寄線の廃止以降、バスによる代替輸送を行うために創設した基金です。

令和6年度は、利子1万円を積み立て、300万円を取り崩しました。

町有林野事業資金基金

町有林野の造林等を行うための基金です。

令和6年度は、積み立て

取り崩しはありませんでした。

森林環境譲与税基金

森林整備や森林資源の活用、森林整備を担うべき人材の育成などの事業を行うための基金です。

令和6年度は、森林環境譲与税や利子により8600万円を積み立て、7024万円を取り崩しました。



遠軽町の木 エリヤマザクラ